

魅力ある拠点整備に向けた取り組み — 臨海副都心に建築している新本部の事業をご紹介します —

8月号から産業支援拠点整備の進捗状況や新拠点の特徴、事業概要などを平成22年3月まで全8回のシリーズで掲載しています。第8回目は平成23年度開設に向け臨海副都心に建築中の新本部の事業を紹介します。

新本部の工事進捗状況

連載第6回でもご紹介した新本部は、平成23年度開設に向け、臨海副都心青海地区で着々と建設工事が進捗し、現在2節目の鉄骨建て方を2階から5階にかけて行っています（図1）。



図1 新本部現場建築工事状況
(全景H22.1.14撮影)

1月号に引き続き新本部における支援事業を紹介していきます。

基盤技術を強化、支援

中小企業の技術力強化支援（技術相談、依頼試験、機器利用）を一層充実し、製品化および事業化支援を行います。照明機器、音響機器、高電圧機器、透視観測装置等の新需要や新規格に対応した試験等を行います（図2、3）。

さらに、実証試験セクターの設置により、製品の信頼性、安全性、故障・事故解析等、ノイズ対策に始まり様々な実証試験を支援します。



図2 LED測定装置



図3 マイクロフォーカス
X線CT装置

製品化・事業化を支援

システムデザインセクターの設置により、安全・軽いなどのニーズに合わせた製品開発の企画や、機能・製造・安全設計から試作までの総合的なものづくり支援、デザインによる商品化の支援を行います。

高度分析開発セクターの設置によりリーディング企業支援、ナノレベルの構造解析、表面分析、微量分析、物性評価、形状評価を可能とし、研究開発から実用化までの幅広い領域で高度分析評価および高品質製品化を支援します（図4、5）。



図4 走査電子顕微鏡



図5 核磁気共鳴装置

製品開発支援ラボとして、中小企業の24時間稼働の研究開発・実験スペース（機械、電気、情報、化学）を提供し、製品や技術の開発を行う企業、新規創業を目指す企業等を支援し、中小企業の活性化に寄与します。

産業交流支援

東京イノベーションハブを発展させ、大学、公設試験研究機関、学協会、自治体、業界団体との連携、異業種交流や地域の情報発信を活性化し、産業交流連携による新たな製品開発を促進します。

新技術分野を支援

環境・省エネルギー、高周波・半導体、メカトロニクス、バイオ応用などの今後発展が見込まれる新技術分野の産業育成支援を行います。

新拠点に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画本部 新拠点準備室 <西が丘本部>
山本克美 TEL 03-3909-2176
E-mail : yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

平成22年2月 多摩テクノプラザ開設

平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設